

10月号

高社

ヤシロト
かなえゆめ



小泉小学校だより
令和6年9月27日
(No.7)

親(大人)が変われば、子は伸びます！ぐんと成長します！！

わが子の『**自己肯定感**』を高めるためには、親(大人)の**関わり方を変える**ことが大切です！

「自己肯定感」とは、「自分の存在を肯定できる感覚」のことです。他にも、ありのままの自分でよいと思える感覚、自分は大切な存在だと感じている感覚などと表現されることもあります。子どもの自己肯定感とは、親(大人)からの関わり方の積み重ねで形成されていくのだと思います。何とか子どもたちの自己肯定感を高めていきたい。とても参考になるHPを見つけましたので、一部紹介します。※ラフ&ピースマザーのHP <https://www.lnp-mother.com/>

★自己肯定感を下げってしまう親(大人)の関わり方★

子どもの話を聞かない

幼稚園や学校であったことなど、子どもはささいなことでも大人に聞いてほしいもの。子どもが話している時にしっかり聞いてあげないと、「自分に興味がないんだ」「気持ちをわかってもらえない」と感じさせることになり、自己肯定感を低下させる原因になります。

行動の結果しか見ない

たとえば、逆上がりができた時だけほめる、テストで90点をとった時はほめてそれ以下ならほめない、というふうに結果だけを評価する態度を続けていると、自己肯定感を高めることはできません。結果に関わらず、子どもがやりたいと思った気持ちやがんばったことに目を向ける姿勢が大切です。

子どもの行動を大人が決める

子どもが小さいうちは「それはダメ」「こっちにきなさい」と、口を出してしまうことが多いかもしれません。子どもは成長とともに自分ができることやほしいものを理解し、自分で選べるようになっていきます。いつまでも大人が決めてしまうと、自分の意見は尊重されないという感覚を生み、自己肯定感を下げることにつながります。

他の子どもと比較する

「○○ちゃん是可以するのに…」「うちの子は遅れている」などと、他の子どもと比較してしまうことも自己肯定感を低くする原因のひとつです。他と比べてできないことではなく、子ども自身ががんばっていることや成長したことに目を向けてあげましょう。

厳しくしつける

大人になってから困らないようにという思いが強いと、子どもに対して厳しい態度になってしまうことがあります。しかし、厳しくしつける態度は、子どもを尊重する気持ちや優しさがなければ、子どもの存在を否定することにつながってしまいます。怒鳴ったり(「なぜできないんだ?」「何度同じことを言わせるんだ!」「何回言ったら分かるんだ!」)、罰を与えたりすることのほか、子どもの存在を否定するような言葉(「○○なんて生まなければよかった」)を使うことは絶対にやめてください。

子どもは「もう少しでできそう」「やってみよう」と小さな挑戦をくり返すことで成長していきます。その成長していくスピードも、一人ひとり全く違います。**今できないことが、これからはずっとできないままかといえば、決してそうではありません。**

そして、たとえ失敗しても、挑戦したこと、がんばったことをほめてあげてください。最初からうまくやれることはそんなに多くありません。**失敗した時や間違った時には、「大丈夫だよ」「よくがんばっていたよ」「次がんばればいいよ」と、声をかけてあげてください。**

親(大人)が変われば、子どもは伸びます。ぐんと成長します。 私たちは、試されているのです。

日	曜	10月行事予定	下校時刻	日	曜	11月行事予定	下校時刻
1	火	■学校司書来校 記名の日(筆箱の中身) (1年)歯科指導 (5・6年)第6時:委員会(前期⑧最終)	①~④14:40 ⑤⑥15:30	1	金	■ALT来校 【特別日課 5時間授業】教育長訪問 あいさつで絆の日② にこにこ挨拶運動 人権ひびきあい月間(11月)	①14:10 ②~⑥15:00
2	水	■ALT来校	①14:10 ②~⑥15:00	2	土		/
3	木	■ALT来校 ■学校司書来校(給食まで) 後期委員会決め	①②14:40 ③~⑥15:30	3	日	文化の日	/
4	金	■学校司書来校 (全校)第3時:命を守る訓練(地震) ペア遊び②※掃除なし	①②14:10 ③④15:00 ⑤⑥15:50	4	月	振替休日	/
5	土		/	5	火	記名の日(上着、ハンカチ、ティッシュ)	①~③14:40 ④~⑥15:30
6	日		/	6	水	■学校司書来校 ■ALT来校 (6年)修学旅行1日目	①~⑤15:00
7	月	■学校司書来校 (4年)第2・3時:ポッチャ体験 (4年)第5時:聴覚障害者講話(3階多目)	①②14:10 ③~⑥15:00	7	木	■SSW来校 (6年)修学旅行2日目 PTA本部役員会	①②14:40 ③~⑤15:30
8	火	昼休み:通学班長・副班長会③ (3,5年)歯科指導(行1) (4~6年)第6時:クラブ⑦ 前期会計監査16:30	①~③14:40 ④~⑥15:30	8	金	■ALT来校 ■学校司書来校 【特別日課 6年生4時間授業】 第3時:命を守る訓練(不審者対応)	①⑥14:10 ②~③15:00 ④⑤15:50
9	水	■ALT来校 ■学校司書来校 (2年)一日校外学習(アクア・ト岐阜など)	15:00	9	土		/
10	木	■ALT来校 PTA本部役員会⑥	①②14:40 ③~⑥15:30	10	日		/
11	金	■ALT来校 ■学校司書来校 【特別日課(前期終業式)】4時間授業 (全校)第3時:前期終業式	14:00班別	11	月	■ALT来校	①②14:10 ③~⑥15:00
12	土		/	12	火	■学校司書来校 (4年)第1~4時:車いす体験(体育館) (5年)第2,3時:NIE 通学班長・副班長会 (5・6年)第6時:委員会	①~④14:40 ⑤⑥15:30
13	日		/	13	水	■ALT来校 ■S相来校 (5年)第2,3時:NIE	15:00
14	月	スポーツの日	/	14	木	■学校司書来校 ■SSW来校 (2年)第2・3時:まちたんけん①	①②14:40 ③~⑤15:30
15	火	■ALT来校 ■学校司書来校 (全校)第1時:後期始業式 (5・6年)第6時:委員会	①~④14:40 ⑤⑥15:30	15	金	■ALT来校 (5年)自然の家合宿1日目(春日井)	①14:10 ②~④15:00 ⑥15:50
16	水	■ALT来校 (1年)一日校外学習(東山動植物園)	②~⑥15:00	16	土	(5年)自然の家合宿2日目(春日井)	/
17	木	■学校司書来校 ■SC来校 (5年)防災・減災授業(DIG) (2年)いもほり	①②14:40 ③~⑥15:30	17	日	(PTA)資源回収②	/
18	金	■ALT来校 にこにこ挨拶運動 観劇会(123年)③④、(456年)⑤⑥	①14:10 ②③15:00 ④~⑥15:40	18	月	■SC来校 ■学校司書来校 (5年)振替休業日 多治見子ども権利の日	①②14:10 ③~⑥15:00
19	土		/	19	火	■ALT来校 (全校)朝の会:いじめ調査 (5年)第2,3時:NIE (4~6年)第6時:クラブ⑨	①~③14:40 ④~⑥15:30
20	日		/	20	水	■ALT来校 ■学校司書来校 (5年)第2,3時:NIE	15:00
21	月	◎ありがとう週間~10/26 ■学校司書来校	①②14:10 ③~⑥15:00	21	木	■SSW来校 就学時健診 ※給食なし	11:25 班別
22	火	【特別日課(精華小発表会)】3時間授業 ※給食なし	11:30班別	22	金	■ALT来校 ■学校司書来校 にこにこ挨拶運動	①14:10 ②③15:00 ④~⑥15:50
23	水	■ALT来校 ■学校司書来校 ■S相来校 (3年)第1~4時:スーパーマーケット見学1	15:00	23	土	勤労感謝の日 親子高社登山	/
24	木	■ALT来校 (4年)第3~6時:ポッチャ体験(体育館)	①②14:40 ③~⑥15:30	24	日	(PTA)資源回収②予備日	/
25	金	■学校司書来校 (5・6年)第6時:委員会(後期②) (3年)第1~4時:スーパーマーケット見学2	①14:10 ②~④15:00 ⑤⑥15:50	25	月	■SC来校 ペア遊び③※そうじなし (1・2年)第3時:連れ去り防止講座	①②14:10 ③~⑥15:00
26	土	(全校)第3時:ふれあい参観日	11:40 班別	26	火	■ALT来校 ■学校司書来校 (5・6年)第6時:委員会	①~④14:40 ⑤⑥15:30
27	日	23区コミュニティスポーツ大会	/	27	水	■ALT来校	15:00
28	月	振替休業日(10/26ふれあい参観)	/	28	木	■ALT来校 ■学校司書来校 ■SSW来校 (4年)一日校外学習(美濃和紙の里会館)	①②14:40 ③~⑥15:30
29	火	■学校司書来校 (4~6年)第6時:クラブ⑧	①~③14:40 ④~⑥15:30	29	金	(1年)歯科指導 午前	①14:10 ②③15:00 ④~⑥15:50
30	水	■ALT来校 朝活:委員長認証式	15:00	30	土	親子高社登山予備日	/
31	木	■学校司書来校	①②14:40 ③~⑥15:30				

相談してみよう 少しずつでも、きっと何かが変わるから②

親育ち4363たじみプラン事務局

私たちが「悩みを相談する」と決心するとき、心の内にはどんな思いがあるのでしょうか。
 一つは「誰かに相談することは前に進むための行動だ」という認識です。しかし、これは全ての人が持ち得ている思いではありません。大人であれ、子どもであれ「誰かに頼るのは自分が弱い証拠。だから相談などしない」と思う人もいます。
 もう一つは「相談することは自分にとっていいこと」という認識があるか、それを想像できることです。「この人に話を聞いてもらえば方向が見えるかもしれない」「少なくとも気は楽になるだろう」など、相談が自分にプラスに作用するという期待です。これにも「誰かに相談して、ことが動くか、かえって面倒になる」と、経験の有無に関わらず、相談することの、「マイナスの効果」を心に刷り込まれている人もいます。
 「そうだね、相談することにも勇気がいるよね」「そういうこともあるかもしれないね。でも、何かは変わっていくかもしれないよ」。相談をいやがる気持ちも大切に受け止めつつ、「相談を受け止める」メッセージと並行して、子どもたちの「相談する力」を育てる。
 先のデータは、その営みの必要性を、私たちに語りかけているように思えます。(教育推進課 家庭教育担当)